

公民館等の防災・減災教育機能強化事業

「避難所運営セミナー(最終報告)」

災害時に公民館等が避難所として使用される可能性が高いことを受け、避難所開設に関わるスキルアップをめざしながら、地域住民参加による自主防災組織などの協力体制の構築と「小さな拠点づくり」に寄与する公共施設としての役割を担えるよう支援することによって公民館を中心とした地域づくりに資するために、「公民館等の防災・減災教育機能強化事業 避難所運営セミナー」(後援：青森県公民館連絡協議会)を開催しました。

全体会(6/15)では、青森県防災アドバイザー 瀧本 浩一 氏(山口大学大学院創成科学研究科 准教授、消防庁消防大学校 客員教授)による講演「来るべき災害に向けた公民館の役割 ～日頃の備えから避難所運営まで～」を行いました。その後、6月から12月にかけて県内11ヶ所で行った各会場セミナーでは、防災士の三浦一郎 氏、工藤 廣道 氏、小林 閣則 氏(3氏とも青森県防災士会会員)が交代で講師をしてくださり、避難所運営ゲーム(静岡県が開発した、テーブル上で避難所運営を疑似体験できるゲーム。略して「HUG」)を活用した実践的な演習を行いました。全体会の様子は全体会の事業報告を、各会場セミナーの様子は中間報告を御覧ください。

【開催したセミナーの期日と会場、参加人数】

<全体会>

6/15 全体会(青森県総合社会教育センター) 69名

<各会場セミナー>

6/28	八戸市(八戸市総合福祉会館)	<u>45名</u>	9/13	今別町(今別開発センター)	<u>23名</u>
7/4	鱒ヶ沢町(鱒ヶ沢町中央公民館)	<u>23名</u>	10/30	おいらせ町(みなくる館)	<u>50名</u>
7/28	弘前市(弘前市民会館)	<u>52名</u>	11/8	野辺地町(野辺地町中央公民館)	<u>13名</u>
8/23	大間町(大間町総合開発センター)	<u>26名</u>	11/15	三戸町(三戸町中央公民館)	<u>12名</u>
9/6	むつ市(むつ合同庁舎旧館)	<u>20名</u>	12/6	青森市(青森県総合社会教育センター)	<u>43名</u>
9/19	五所川原市(五所川原市中央公民館)	<u>23名</u>	<b>合計 のべ399名</b>		

【セミナーの様子】



## 【参加者のアンケートから】

- ・ 安心、安全に生活している、できている今だからこそ、いろいろ備えが必要で、もしもに備えることが大事だと改めて考えさせられました。
- ・ 危機管理について、いつか起こりうるという意識が大切だと感じました。また、避難者を支援するためには、まず自助できなければ、公助も共助もできないので、自助から始めたいと思います。
- ・ 「想定外」を減らすための努力の積み重ねが大切と思います。
- ・ 病気の方、認知症の方、両親を亡くした子どもさん、いろいろな避難者が想定され、受付がとても重要だと思いました。地域の防災組織では地区の諸団体との連携が大事だと思いました。
- ・ 運営担当側の判断力について問われていること、避難所の条件が多岐にわたっていることが多い中で、現実に発生した災害に柔軟な対応をするしかないと感じました。
- ・ 組織を作り、リードしていく人がいなければ施設がまともなくなるので、組織を作る大切さを知りました。たくさん問題点をよく考え、対策をとれるような心構えをしていきたいと思います。
- ・ 現実に災害が起こったらパニックになり、思うような行動ができなくなりそうです。繰り返し運営の訓練をやってみる必要があると思いました。
- ・ いざという時にまず最低限必要な場所の確保など（通路、受付）前もって準備し、定期的に確認する必要があると感じました。また、組織作りも外部との連携の確認も大切だと思いました。
- ・ 避難者の配置などを話し合っている中で、指揮系統をはっきりしないと話が進まないと感じました。
- ・ 災害時の対応についての基本的な事項をもっとパンフレットなどを活用して広報してほしいと思います。
- ・ 看護師や保育士、建築士などの専門家も交えてHUGに取り組んでみたいと思います。
- ・ 実際の災害を想定して対応などについて考えることができ勉強になりました。改めて平常時のうちにマニュアルやルールなどを決めて訓練することが大事だと感じます。
- ・ 女性視点の避難所の運営も勉強になりました。
- ・ 避難者の中にペットと同伴で来る人が多いこと。また、外国人もその中に入っているため対応が大変なことを学びました。また、プライバシーや盗難等にも気をつけなければならないと思いました。
- ・ たった2時間でもこんなに疲れたので、実際に避難所を運営する人は相当大変だと思いました。
- ・ 避難所運営が本当は無いことがよいですが、災害が増えており、避けては通れないものになったと思っています。今回のHUGは慌ただしく感じましたが、実際はもっと大変かと思いました。
- ・ 実際に避難所を運営しているような体験をできました。こういった訓練は何回かやらないと身につかないと思います。
- ・ 避難所（特に学校）の敷地の中で次のようなものの設置場所を事前に決められないものかと思っています。テント、駐車場（車で生活する人）、仮設トイレ、仮設風呂、給水車、本部など。
- ・ あらゆる事柄を考えて対応することは難しいと感じました。あらかじめ役割を決め、協力し合っていかなければ、乗り越えることは不可能だなど実感でき、非常に学びになりました。
- ・ リーダーシップは大切だし、住民同士の日頃のコミュニケーションはやはり重要だと思いました。